

腎友会だより

支援自販機が6台に！

鳥取県腎友会は活動の支援をしていただく協賛者募っている。その一環として飲料メーカーのダイドーウエストベンディングの自動販売機の売り上げの一部を寄贈して貰い活動の資金にしていける取り組みを行っている。

このほどは、境港市の(株)



腎友会協賛支援自販機の設置の前で

三光ホールディング(代表・三輪陽通)が趣旨に賛同して飲料の自販機5台を関係の事業所に設置した。

設置がほぼ完了した11月14日に、三光の本社の駐車場の大型洗車場に設置した自販機の前で運用開始を確認した。これには三光の社員、大本鳥取県腎友会会長、ダイドーウエストベンディングが参加した。あいさつに立った大本会長は「県内の人工透析患者1500人の医療費補助の継続や行政の支援を確実に受けられるように会員400人で活動している。会員が年々減少しているのと高齢者が多くなっている現状で協力をいただき大変ありがたい」と感謝した。

(株)三光ホールディングの壺谷課長は「今後でもできるだけ支援させていただきま

第5回患者交流会

11月17日(日) 県腎友会が患者交流会を伯耆しあわせの郷(倉吉市)開催した。

参加者は、腎移植者、腹膜透析、血液透析、CKD、などで、講演は、倉吉出身で福岡大学医学部医学科卒業の山本了(やまもと りょう)山本内科副院長が腹膜透析と血液透析について現況を話した。講演では、腹膜透析を30年以上した患者を診ていた経験から、一般に3年から5年となっていくが、透析液の開発で長くできるようになった。と説明した。



講演をする山本了副院長

おしらせ

県腎友会の署名運動の取り組みを

12月15日まで延長することになりました。

請願署名ありがとうございます。私たち！腎臓患者の生命・生活を守るための署名募金活動をする事によって、医療福祉を後退させないため、より推進させるためにも「腎疾患相互対策の早期確立」の要望活動を継続することは重要で

す。一人でも多くの方に署名をしてもらい運動を充実したい。

- 署名は基本自筆、代筆は押印が必要。
- 住所は県名から、市町村、番地を。
- 住所が同じでも一人ひとり記入。同居でも同様。
- 締め切りは2019年12月15日までに投かん箱にお願いいたします。
- 用紙はテレビの横に置いてあります。

一人でも多くの方に署名をお願いしましょう

自己管理に活かそう

リン(P)・とカルウム

(Ca)

リンやカルシウムのバランスが崩れると、痛みやかゆみ、イライラするなどの症状が現れます。

血液中のリンが過剰になるとカルシウムが相対的に減るので、骨からカルシウムが出ていき、骨が弱くなりそのカルシウムが関節の周囲などに沈着し石灰化します。特に、心臓の血管の石灰化は危険です。

一方リンの値が低いとしびれなどの症状がでたり、副甲状腺ホルモンの値が高くなる原因にもなります。リンやカルシウムは、値が高くても低くても注意が必要です。

(せんじんきょう No.293 特集 「知っておきたい検査数値」

監修 武蔵野徳洲会病院 院長 鈴木洋通先生

(抜粋)